

〔様式1〕 平成19年度 事務事業評価表						
記入年月日	平成19年3月30日		記入者	神保 敏規	連絡先	042.684.3211
平成18年度部名	教育総務部		課名	相模湖教育課	課長名	深澤 和則
平成19年度部名	教育環境部		課名	相模湖教育課	課長名	深澤 和則
事務事業名	学校体育施設等開放事業					
予算上の事務事業名	学校プール開放経費					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	14120		
基本目標	I「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政策名	第4章 人間性豊かな子どもを育成します					
基本施策名	第1節 ゆとりある学校教育の創造					
施策名	第2施策 小・中学校教育の充実					
2 実施根拠及び関連法令・条例・規則・要綱等						
3 個別計画の概要			概要			
計画名						
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分	サービス提供			5 事業開始年度	昭和63年以前	
6 事業概要						
(1) 事業の目的（何のために行うのか、またはもたらしたい成果）					(2) 対象（誰、何）	
衛生面及び安全面に十分配慮したなかで、夏休み期間中に小学生を対象に学校プールを開放し、もって健康増進を図ることを目的とする。					小学生	
(3) 平成18年度事業の内容（活動）・・・いつ、どのような方法で実施した内容（活動）なのか。						
平成18年7月24日から8月31日までの指定日に、管内3小学校のプールを解放し、児童の健康増進を図った。 なお、衛生面及び安全面を確保するため、各プールに有資格者である監視主任を常駐させた。 （その他の監視員は、各小PTAがその任にあたった。） 3校延開放日数 67日 ・ 桂北小学校 340人 ・ 千木良小学校 486人 ・ 内郷小学校 541人 計 1,367人						
7 関連事業・類似事業又は他市の状況						
近隣他市においても同様の事業が実施されている。						
8 事業費の推移 〔単位：千円〕						
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業費	0	0	901	947	947	
一般財源	0	0	901	947	947	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	0	0	3	3	3	
事業コスト合計	0	0	904	950	950	
9 事業効率・・・活動単位当たりの事業効率						
事業名 （主たる事業名）	学校体育施設等開放事業			対象名称 と単位	利用者数	
年 度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
事業コスト（主たる事業）	0	0	904	950	950	
対 象 数	0	0	1,367	1,500	1,500	
単位あたり経費(円)	#DIV/0!	#DIV/0!	661	633	633	
前 年 度 比			#DIV/0!	0.96	1.00	
10 活動指標・・・実施した内容（活動）を数値化したもの						

指標名と単位	学校プール利用者数 (人)	指標式と指標の説明	利用者数		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	1,367.0		
目標	0.0	0.0	1,500.0	1,500.0	1,500.0
目標達成度 (%)	#DIV/0!	#DIV/0!	91.1		
1.1 成果指標・・・もたらしたい成果の達成度を数値化したもの					
指標名と単位	利用者一人当たりの単価 (円)	指標式と指標の説明	学校プール開放経費/期間利用者数		
	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
実績	0.0	0.0	661.3		
目標	0.0	0.0	650.0	650.0	650.0
目標達成度 (%)	#DIV/0!	#DIV/0!	98.3		
1.2 個別評価					
(1) 妥当性の評価 [A: 妥当である・B: 妥当性に課題がある・C: 妥当でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・法令、条例により実施することが義務付けられている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・法令、条例に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・公益性が高い、または必要性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input type="checkbox"/>	・税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 [A: 有効である・B: 有効性を高める余地がある・C: 有効でない]					
A	<input type="checkbox"/>	・上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 [A: 効率が良い・B: 効率性を高める余地がある・C: 効率が悪い]					
B	<input checked="" type="checkbox"/>	・単位あたりの経費は適正である。			
	<input type="checkbox"/>	・再任用や非常勤職員などを活用しても、これ以上のコスト節減の余地がない。			
	<input type="checkbox"/>	・受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力または市民協働の導入の可能性 [有・無]					
無	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、民間で実施する方が適している。			
	<input type="checkbox"/>	・業務の一部または全部について、市民協働により推進する方が適している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・業務の一部に民間委託を導入しているが、さらに民間委託を導入しても効果が見込めない。			
	<input type="checkbox"/>	・市で実施する方が民間委託等をするより適している。			
1.3 総合評価 (一次評価)					
(1) 自動判定結果					
★★★★	[★★★★] : 良好な状態を維持する事業				
	[★★★] : 概ね良好な状況である事業				
	[★★] : 見直しを行う必要がある事業				
	[★] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 事業所管課長による評価 (今後の方向性)			(3) 事業所管課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実		3校で延べ67日間、学校プールの開放を実施し、夏季休暇中の児童の健康増進に寄与できた。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			
1.4 成果向上及び効率性を高めるための方策 利用児童数の増加を図るため、関係者(学校、PTA、教育課)会議などにより啓発を行う。			1.5 課題として認識されたこと プール事故の未然防止のため、今後とも現在の監視体制を充実、継続させていく。		
1.6 二次評価					
(1) 局内評価会議による評価 (今後の方向性)			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	・拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	・現状維持			
	<input type="checkbox"/>	・見直し			
	<input type="checkbox"/>	・廃止			